

外科

■渡部 和巨 旭川医科大学

副院長，主任外科部長，研修委員長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本医工学治療学会呼吸器分科会会長，
AARC（米国呼吸療法学会）ICRC（国際部会）
executive committee，
日本ヘルニア学会理事，
日本内視鏡外科学会評議員，
日本気胸・嚢胞性肺疾患学会評議員，
短期滞在手術研究会世話人，
介護支援専門員，臨床研修指導医
一般外科，呼吸器外科，血管外科，内視鏡外科，
ヘルニア，肛門外科

■河野 至明 鹿児島大学

肝胆膵外科部長
日本外科学会外科専門医・指導医，
日本消化器外科学会専門医・指導医，
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医・評議員，
日本緩和医療学会暫定指導医，
日本癌治療学会暫定教育医

■荻野 秀光 山形大学

外科部長
日本外科学会専門医，
日本脈管学会認定脈管専門医，
日本血管外科学会認定血管内治療専門医，
胸部大動脈・腹部大動脈瘤ステントグラフト指導
医，臨床研修指導医
一般外科、血管外科

■河内 順 長崎大学

外科部長
日本外科学会外科専門医，日本救急医学会専門医
一般外科、外傷外科

■下山 ライ 秋田大学

外科部長
日本外科学会外科専門医，
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医，
検診マンモグラフィ読影認定医，
日本核医学会PET認定医，
インфекションコントロールドクター，
日本医師会認定産業医，臨床研修指導医，
緩和ケアに関する指導者研修会修了，
介護支援専門員
一般外科，腫瘍外科，薬物療法，緩和ケア

■池谷 佑樹 東邦大学

外科医長
日本外科学会外科専門医，
日本脈管学会認定脈管専門医，
日本血管外科学会認定血管内治療専門医，
胸部大動脈・腹部大動脈ステントグラフト指導医
一般外科，血管外科

■磯貝 尚子 東京女子医科大学

日本外科学会外科専門医
一般外科，血管外科

■三宅 克典 京都大学

日本外科学会外科専門医
一般外科，腎移植外科

■加藤 一郎 岩手医科大学

第27期チーフレジデント

■田代 善彦 北海道大学

第27期チーフレジデント

■木村 慎一 筑波大学

第27期チーフレジデント

■佐藤 雄生 昭和大学

第27期チーフレジデント

■篠崎 伸明（非常勤） 千葉大学

湘南厚木病院 院長

日本外科学会指導医，日本消化器外科学会認定医，
日本救急医学会認定医，日本透析療法学会認定医，
日本オストミー協会指導医，
日本内視鏡外科学会評議員，
日本医療マネジメント学会評議員，
日本クリニカルパス学会評議員，

短期滞在手術研究会世話人

一般外科，胸部外科，内視鏡外科手術，

介護支援専門員

■砂川 剛（非常勤） 琉球大学

名瀬徳洲会病院 外科部長

日本外科学会外科専門医

消化器外科，乳腺・甲状腺外科

はじめに

1988年に湘南鎌倉総合病院が開院して以来，患者様のために「常にメスのもてる内科医であれ」を理念にこれまでやってまいりました。25年が経過した現在もその理念を守り，日々患者様のために診療を続けています。個々のスタッフは一般外科医として外科疾患全体の診療に当たるほか，それぞれが得意とする専門領域をもち各々の疾患に対して診療にあたっています。また呼吸療法士，感染症ナース，創部・褥創・人工肛門ケアナース（WOCナース），緩和ケア認定ナースなどの専門看護師が積極的に患者様と外科医との間に入り，高いレベルでの専門ケアをとともにこなしています。

当科の特徴としては在院日数が9～10日と非常に短いこと，手術件数が年間3,000件近くと非常に多く種類も多様であることがあげられます。日本ではじめて行われた日帰り手術は現在国内で定着し，当科においても全手術の約50%が日帰り手術センターで行

なわれています。

院内には毎日当直医がおり，緊急時にはオンコールスタッフが30分以内に病院に来院可能であるため，これまで救急，緊急手術を断ったことは一度もありません。

またスタッフには介護支援専門員の資格をもっているものもおお、訪問看護・在宅医療を積極的に行なっています。

診療内容

【標榜科】外科・呼吸器外科・肛門科・気管食道科

対象疾患は呼吸器外科（気管・肺・縦隔などの良性・悪性疾患），消化器外科（腹部消化器全般の悪性腫瘍，胆石症・痔などの良性疾患など），乳腺・甲状腺外科・内分泌外科（乳癌・乳腺腫瘍，甲状腺・副甲状腺・副腎疾患など），血管外科（胸腹部大動脈瘤・末梢血管・下肢静脈瘤・透析シャント造設など）と多岐にわたっております。また，腹部大動脈破裂・末梢血管閉塞・腸閉塞・腹膜炎・自然気胸・外傷などの緊急手術と広い範囲をカバーしており365日，24時間いつでも対応いたします。腹腔鏡手術，胸腔鏡手術を1990年から導入し，患者様に負担が少ない治療を率先して行なっています。

外来は月曜日から土曜日まで一般外来，専門外来を行なっています。

【専門外来】胆石外来，下肢静脈瘤外来，肛門外来，呼吸器外来，血管外科外来，乳腺甲状腺外来，腫瘍外科外来

本年の動向

昨年より引き続き1月より4月まで第26期レジデントである西田智喜医師がチーフレジデントを務めました。

2月より乳腺外科部長として田中久美子医師が入職しました。

4月より第27期レジデントである加藤一郎医師，田代善彦医師がチーフレジデントとして（10月まで），倉田修治医師，佐藤仁信医師が後期研修医として着任しました（10月まで）。

5月より磯貝尚子医師が復職しました。

10月より数納祐馬医師が後期研修医として着任（12月まで），11月より佐藤雄生，木村慎一医師がチーフレジデントとして着任しました。

診療実績

■手術

全手術件数：2,881件（NCD登録件数）

■呼吸器領域

当科の診療は早期肺癌から多臓器浸潤進行肺癌，気管腫瘍，縦隔腫瘍，重症筋無力症，自然気胸，手掌多汗症など多岐にわたっており，いわゆる定型手術と言われる呼吸器外科手術のみならず他科との連携によって広い範囲の胸部外科手術をおこなっています。

完全胸腔鏡下で可能な手術も多くありますが，“手術時間2時間以内，それを過ぎた場合には創部を延長することに拘泥しない”をモットーに安全・確実な手術を行っています。

●肺癌・縦隔1腫瘍手術

肺葉切除：16件（うち鏡視下11件）

縦隔腫瘍摘出術：7件

●良性疾患手術

自然気胸に対する胸腔鏡下肺部分切除術・レーザー焼灼術：23件

胸部交感神経節切除術：2件

漏斗胸手術：5件

■消化器領域

対象疾患は消化器全般にわたります。

悪性疾患としては食道・胃・大腸癌の根治手術のほか，肝臓癌・膵臓癌・胆道癌に対する手術，転移性肝癌・原発性肝癌に対するラジオ波による腫瘍焼灼術，経動脈的塞栓術・経動脈的化学療法などを行っています。

食道癌

食道癌診断・治療ガイドライン（日本食道学会）に基づき，治療方針を検討しています。

0期 食道癌

粘膜内にとどまるがんが相当します。消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

I期 食道癌

粘膜下層まで浸潤を認めるがんが相当します。深達度により消化器病センター（消化管内科）での内視鏡的切除，または当科での外科的切除が適応になります。内視鏡的切除後に粘膜下層深部への浸潤を認めた場合には，追加治療として外科的切除もしくは化学放射線療法を検討します。

II～III期 食道癌

術前化学療法としてFP療法（5-フルオロウラシル＋シスプラチン）を2サイクル施行した後に根治切除を行います。手術不耐と判断された場合，手術を希望されない場合には根治的放射線療法を検討します。

IVa期 食道癌

周囲へ浸潤を認めるがん，遠くのリンパ節まで転移を認めるがんなどが相当します。術前化学療法により切除が期待できる場合には，II～III期と同様に術前化学療法としてFP療法（5-フルオロウ

ラシル+シスプラチン)を2サイクル施行した後に根治切除を行います。

治癒切除が難しい、手術に不耐と判断された場合、手術を希望されない場合には根治的放射線療法を検討します。化学放射線療法が困難な場合には、症状緩和のための食道ステント留置、栄養のための胃瘻造設などを検討します。

IVb期 食道癌

肝臓、肺などに遠隔転移を認めるがんが相当します。治癒が望めないことが多いため、延命治療としての化学療法、緩和治療としての放射線療法・化学放射線療法が行われます。症状緩和のための食道ステント留置、栄養のための胃瘻造設なども検討します。

●食道悪性腫瘍手術

食道亜全摘術：6件

胃癌

胃癌治療ガイドライン（日本胃癌学会）に基づき、治療方針を検討しています。

I a期 胃癌

粘膜内もしくは粘膜下層までにとどまるがんが相当します。大きさや組織型などで判断しますが、可能なものは消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

内視鏡的切除の適応外となる場合には腹腔鏡下胃切除術を検討します。

I b期 胃癌

早能な限り腹腔鏡手術を行います。

IIa～IIIc期 胃癌

基本的には開腹手術による胃切除およびリンパ節郭清を行います。年齢・合併症の程度などから低侵襲性を優先して腹腔鏡下に手術を行うこともあります。II期の一部およびIII期に対しては、術後補助化学療法としてS-1（ティーエスワン）1

年間内服を行っております。またIII期の一部では根治性を高めるため術前化学療法を行うこともあります。

IV期・再発胃癌

遠隔転移を伴う例、根治切除不能例・再発例に対しては全身化学療法のほか、閉塞解除のためにステント留置、バイパス手術なども行います。

●胃悪性腫瘍手術

胃全摘術：17件（うち鏡視下1件）

幽門側胃切除術：40件（うち鏡視下19件）

胃部分切除術：7件（うち鏡視下6件）

胃一空腸吻合術：4件

診断的腹腔鏡：2件

大腸癌

大腸癌治療ガイドライン（大腸癌研究会）に基づき、治療方針を検討しています。

0期 大腸癌

粘膜内にとどまるがんが相当します。消化器病センター（消化管内科）において内視鏡的切除を行います。

I期 大腸癌

粘膜下層まで浸潤を認めるがんが相当します。深達度により消化器病センター（消化管内科）での内視鏡的切除、または当科での外科的切除が適応になります。手術適応症例に対しては可能な限り腹腔鏡下手術を行います。

II～III期 大腸癌

可能な限り腹腔鏡下手術を行いますが、手術歴や進行具合によっては開腹手術が望ましいこともあります。II期の一部およびIII期に対しては、術後補助化学療法としてUFT/LV、カペシタピン（ゼローダ）、S-1（ティーエスワン）など経口抗がん剤を半年間内服していただきます。III期の一部の方には点滴の抗

がん剤を併用するXELOX療法（カペシタビン＋オキサリプラチン）を行います。

IV期 大腸癌

肝臓、肺などに遠隔転移を認めるがんが相当します。治癒が望めないことが多いため、多くの場合には延命治療としての化学療法が選択肢となります。

しかし、転移巣も含めた切除が可能と判断された場合には、原発巣および転移巣の手術を行っております。進行・再発例に対しては、分子標的薬を含む化学療法や病勢制御・症状緩和のための放射線療法も積極的に行っております。

●大腸悪性腫瘍手術

結腸切除術：107件（うち鏡視下73件）

直腸切除・切断術術：26件（うち鏡視下10件）

人工肛門造設術：4件

腸吻合術（バイパス）：2件

試験回復術：2件

肝胆膵癌

切除可能例に対する根治手術のほか、経皮的胆道ドレナージ、経皮的・内視鏡的胆道ステント留置、ラジオ波焼灼術などの低侵襲治療も行っております。また、切除不能例に対する放射線療法、化学療法も積極的に行っております。

●肝臓悪性腫瘍手術

肝切除術：18件

●胆道悪性腫瘍手術

肝切除術：5件

膵頭十二指腸切除術：7件

●膵臓悪性腫瘍手術

膵頭十二指腸切除術：10件

膵全摘術：1件

良性疾患

当院は胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の日帰り手術を日本で初めて行い、現在では標準術式

として認識されています。そのほか食道アカラシア、直腸脱、内痔核など良性疾患に対する手術や特発性食道破裂、胃十二指腸潰瘍穿孔、腸閉塞、大腸穿孔などの緊急手術も多数行っており、24時間365日対応しております。

●食道疾患

食道裂孔ヘルニア根治術：3件
（うち鏡視下2件）

食道破裂手術：1例

●胃・十二指腸潰瘍

大網充填術：17件

●腸閉塞

癒着剥離術：33件

小腸部分切除術：34件

腸切開術：2件

閉鎖孔ヘルニア手術：6件

●急性虫垂炎

虫垂切除術：214件（うち鏡視下9件）

●大腸良性疾患（憩室・捻転など）

大腸切除術：15件（うち鏡視下10件）

ハルトマン手術：11件

●肛門疾患

痔核根治術：100件（うちPPH法91件）

裂肛根治術：5件

痔瘻根治術：14件

肛門ポリープ切除術：5件

直腸脱手術：7件

肛門周囲膿瘍切開排膿術：25件

●胆石症

胆嚢摘出術：228件（うち鏡視下222件）

総胆管結石載石術：2件

■乳腺甲状腺・内分泌内科

乳腺・甲状腺・副甲状腺・副腎などの疾患に対応しております。

本年より乳腺外科が診療科として独立したため、主に甲状腺癌疾患（甲状腺癌、甲状腺腺腫）、副甲状腺疾患（原発性、二次性副甲状腺機能亢進症など）、副腎疾患（副腎腺腫、副腎癌、褐色細胞腫など）に対する手術を行っております。

■甲状腺疾患

●良性疾患

腺腫摘出術：2件

●甲状腺癌

片葉切除術：2件

甲状腺癌全摘術：3件

■副甲状腺疾患

腺腫過形成手術：7件

■副腎疾患

副腎摘出術：2件（うち鏡視下2件）

■血管外科

胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト術は症例数が増し、ステントグラフト実施基準管理委員会の定める指導医資格を取得いたしました。

閉塞性動脈硬化症に対してはバイパス術や血栓内膜摘除術と血管内治療のhybrid手術を積極的に導入しております。

血液透析の内シャント造設とその機能低下に対するシャント血管拡張やシャント再建術は可能な限り即日手術、即日退院で行っており、他施設からも多くのご依頼を頂いております。

●大動脈瘤

腹部大動脈瘤人工血管置換術：10件

ステントグラフト内挿術（胸部）：19件

ステントグラフト内挿術（腹部）：58件

ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）：8件

●末梢血管

末梢血管バイパス手術：23件

末梢動脈瘤切除術：3件

血管結紮術：2件

動脈内膜摘出術：4件

血栓除去術：14件

血管拡張術・形成術：29件

血管塞栓術：2件

●シャント

内シャント造設術：106件

シャント血栓除去術：27件

シャント血管拡張術：401件

シャント血管結紮術：6件

●静脈瘤

抜去切除術：152件

高位結紮術：64件

血管内静脈焼灼術：37件

●その他

中心静脈輸液用ポート造設：35件

下大静脈フィルター留置：2件

腹腔鏡シャント造設術：1件

■日帰り手術センター

1995年5月に日本で初めての日帰り手術を開始し、この10年間で他施設の日帰り手術に多くの影響を与えてきました。現在、年間2,000件以上の手術のうち50%が日帰り手術センターで行われています。

今後、同日入院・同日手術がこれまで以上に多くなり、その意味でも日帰り手術センターの役割は大きいといえます。

●ヘルニア手術

鼠径ヘルニア根治術：364件（うち鏡視下1件）

大腿ヘルニア根治術：16件

腹壁癒痕ヘルニア根治術：15件

臍ヘルニア根治術：7件

白線ヘルニア根治術：1件

●肛門手術（再掲）

痔核根治術：100件（うちPPH法91件）

裂肛根治術：5件

痔瘻根治術：14件

肛門ポリープ切除術：5件

直腸脱手術：7件

肛門周囲膿瘍切開排膿術：25件

●胆石症（再掲）

胆嚢摘出術：228件（うち鏡視下222件）

●静脈瘤（再掲）

抜去切除術：152件

高位結紮術：64件

血管内静脈焼灼術：37件

●多汗症手術

腹腔鏡下胸部交感神経切除術：2件

●その他

皮膚腫瘍・皮下腫瘍切除術：67件

リンパ節生検：37件

■外傷外科

胸腹部や多発外傷を中心とした一般外科の外傷入院は平均してひと月6人ほどです。特に多発外傷で全身状態が不良の患者様は安定するまで外科で管理し、落ち着いたら各科に転科することになります。

今年度の外科外傷手術症例は以下の通りです。手術室に透視ベッドが導入され、腹部骨盤外傷のDSAが手術室でも出来るようになりました。手術への移行の可能性、重症度、他科のスケジュールなどを考慮して従来の血管造影室と使い分けています。

●手術

横隔膜縫合術：3件

肝縫合術：1件

小腸切除術：1件

膀胱破裂修復術：1件

人工肛門造設術：1件

試験開腹術：2件

診断的腹腔鏡：1件

●IVR

血管造影・塞栓術：6件

ステントグラフト留置：1件

■オンコロジーセンター

外科部門として外来化学療法を積極的に行っております。現在、乳癌における術後補助化学療法その他、進行再発消化器癌全般、進行再発肺癌などを対象にQOLを考慮した化学療法を行っております。また、新規抗癌剤の使用、臨床試験・治験への参加も積極的に行い治療に当たっております。

■訪問診療・在宅緩和ケア

外来通院が困難になった場合や、治療困難な悪性疾患のため自宅でご家族とできるだけ長く生活することを望まれた場合、外科医師が往診して最期までケアさせていただきます。在宅では中心静脈栄養・末梢静脈栄養・経管栄養の他、酸素療法・経鼻胃管の管理、オピオイドによる疼痛コントロールなど入院中とほぼ同様のことが可能です。

■公開医学講座・講演

毎月10～14の講座を各地域で行っております。依頼講演も随時お引き受けしております。

◆痛くない痔の日帰り手術（担当：渡部・磯貝）

◆手のひらの汗でお悩みの方へ（担当：渡部）

◆胆石症・胆嚢ポリープと日帰り手術
（担当：荻野・河内）

◆足の静脈瘤でお悩みの方へ
～最新レーザー治療～（担当：池谷・磯貝）

◆鼠径ヘルニアと日帰り手術（担当：河内）

◆腹部大動脈瘤の最新低侵襲治療
～ステントグラフト～（担当：荻野）

◆下肢閉塞性動脈硬化症～足の動脈閉塞について～
（担当：荻野・池谷）

◆肺がんのお話（担当：渡部）

◆がんのお話

～予防と早期発見のために～ (担当: 下山)

◆胃潰瘍?それとも...～胃癌の話～ (担当: 下山)

◆便秘や痔だと思いませんか?

～大腸癌の話～ (担当: 下山)

◆静かに忍び寄る膵臓癌について (担当: 下山)

◆のどのつかえはありませんか

～食道癌のお話～ (担当: 下山)

◆胸にしこりはありますか?

～乳癌の診断と治療～ (担当: 下山)

◆消化器外科における新しい内視鏡外科手術

について(担当: 服部)

◆ここまでできる腹腔鏡手術

～胃がん・大腸がん・その他～ (担当: 河内)

学術業績

(1) 論文発表

1. 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 下山ライ, 荻野秀光, 渡部和巨, 篠崎伸明, 前川貢一: 胸腔鏡下手術にて治療した鈍的外傷による大量血胸の三例. 日本臨床救急医学会雑誌 2013; 16(1): 30-34.
2. 片山郁雄, 田中正史, 荻野秀光, 伊藤智, 島田直洋, 橋本和憲, 大城憲和, 白水御代: 上腸間膜動脈直下の腹部大動脈慢性閉塞を伴う Crawford I型胸腹部大動脈瘤に対して debranching TEVARを施行した一例. 日本心臓血管外科学会雑誌 2013; 42(3): 228-231.
3. 河内順, 村山弘之, 荻野秀光, 篠崎伸明, 前川貢一, 渡部和巨: 皮膚潰瘍にストリッピングを行った Klippel-Trenaunay症候群の一例. 日本臨床外科学会雑誌 2013; 74(9): 2635-2638.
4. 荻野秀光, 渡部和巨, 池谷佑樹, 河内順, 磯貝尚子: 【大動脈疾患をどう考える—ステントか

外科治療か】治す破裂性大動脈瘤 ステントか外科治療か. Heart View 2013; 17(11): 1270-1276.

5. 池谷佑樹, 荻野秀光: 孤立精巣腸骨動脈瘤に対し反転したゴアエクスクルーダーコントララテラルレッグを留置した一例. 日本血管外科学会雑誌 2013; 22(5): 801-804.
 6. 池谷佑樹, 荻野秀光: ステントグラフト内挿術後のタイプ2エンドリークに対して血管造影ガイド下腹腔鏡下下腸間膜動脈および腰動脈結紮術を施行した一例. 日本血管外科学会雑誌 2013; 22(6): 902-906.
 7. 荻野秀光, 池谷佑樹, 向山尚子, 三宅克典: ダメージコントロールが有効であった腹部大動脈—十二指腸瘻手術の一例. 日本血管外科学会雑誌 2013; 22(6): 915-918.
 8. 池谷佑樹, 荻野秀光: 腹部大動脈瘤人工血管置換術後の人工血管破綻による非吻合仮性動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を施行した一例. 日本血管外科学会雑誌 2013; 22(7): 997-1000.
 9. 下山ライ, 太田恵一郎: 【最後までよい人生を支えるには 多死時代の終末期医療】がんの終末期を支えるには 消化管がん. 内科 2013; 112(6): 1076-1081.
 10. 下山ライ, 太田恵一郎: 【いきいきと生きるための緩和薬物療法】消化器症状の制御における緩和薬物療法の実際. Mebio 2013; 30(7): 42-51.
- (2) 学術集会
11. 服部浩次, 太田恵一郎, 下山ライ: 患者満足度, コスト, 手技の難易度のバランスを考慮した腹腔鏡下幽門側胃切除術のR-Y再建の工夫. 第85回日本胃癌学会総会, 大阪, 2013, 2.
 12. 佐々木亜希子, 森山友章, 所晋之介, 長主直子, 関浩孝, 河内順: 内視鏡により止血可能であつ

- た大腸 angioectasia の2例. 第85回日本消化器内視鏡学会総会, 京都, 2013, 5.
13. **荻野秀光**: 破裂性大動脈瘤に対する緊急ステントグラフト治療. 第42回日本 IVR 学会総会, 軽井沢, 2013, 5.
 14. 高木睦郎, **荻野秀光**, 佐藤雄生, 平田裕久, 伴卓史朗, 高力俊策, 小銭太郎, **渡部和巨**: 腹部大動脈瘤ステントグラフト治療における炭酸ガスの使用経験. 第42回日本 IVR 学会総会, 軽井沢, 2013, 5.
 15. **池谷佑樹**, **荻野秀光**, **渡部和巨**: 腹部大動脈瘤人工血管置換術遠隔期における非吻合部人工血管瘤破裂に対して EVAR を施行した一例. 第41回日本血管外科学会学術総会, 大阪, 2013, 5.
 16. 高木睦郎, **渡部和巨**: 術中血管造影で診断に至った小腸出血の一例. 第41回日本血管外科学会学術総会, 大阪, 2013, 5.
 17. **荻野秀光**, **池谷佑樹**, 向山尚子, 三宅克典, **渡部和巨**: ハイリスク症例における大動脈瘤手術ステントグラフト治療における適応の拡大と限界 破裂性腹部大動脈瘤に《標準病名》に対する緊急ステントグラフトの早期中期成績の検討. 第41回日本血管外科学会学術総会, 大阪, 2013, 5.
 18. 三宅克典, 徳本直彦, 長谷川正宇, 宮本雅仁, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 湘南鎌倉総合病院における ABO 不適合生体腎移植の1例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013, 6.
 19. 長谷川正宇, 徳本直彦, 三宅克典, 中島みなみ, 堤大夢, 持田康寛, 真栄里恭子, 石岡邦彦, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 術前 HDF および生体腎移植にて著明な心機能改善が得られた血液透析患者の1例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会福岡, 2013, 6.
 20. **荻野秀光**, 小林修三, 大竹剛靖, 守矢英和, 日高寿美, 松見純也, 近藤憲司, 遠山哲彦, 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典: フットケアチームの意義と役割 当院におけるフットケアチームの取り組み. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 21. **池谷佑樹**, **荻野秀光**: ゴアエクスクルーダーの反転留置2方法. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 22. 三宅克典, 磯貝尚子, **池谷佑樹**, 辻本和之, 河内順, 徳本直彦, **荻野秀光**, **渡部和巨**: 当院におけるシャントケアセンターの取り組み 使いやすいシャントを目指して. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 23. 三宅克典, 磯貝尚子, **池谷佑樹**, 辻本和之, 河内順, 徳本直彦, **荻野秀光**, **渡部和巨**: 孤立性上腸間膜動脈解離の治療戦略 当院での10例の経験を踏まえて. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 24. 磯貝尚子, **池谷佑樹**, **荻野秀光**, 三宅克典, 下山ライ, 河内順, **渡部和巨**: 下腭十二指腸動脈出血に血管内治療が有効であった一例. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 25. 高木睦郎, **荻野秀光**, 清水実, 白水御代, 佐藤雄生, 平田裕久, 磯貝尚子, **池谷佑樹**, 西田智喜, 伴卓史朗, 高力俊策, 小銭太郎, **渡部和巨**: 総大腿動脈瘤に対しステントグラフト内挿術が奏功した一例. 第54回日本脈管学会総会, 東京, 2013, 10.
 26. 白水御代, 田中正史, 片山郁雄, 野口権一郎, **池谷佑樹**, 山部剛史, 西智史, 湯地大輔, 大城憲和: 感染性心内膜炎を合併した心室中隔欠損

- 症に対してMICS-VSD閉鎖術を行った1例. 第163回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 東京, 2013, 11.
27. 西智史, 野口権一郎, 大城憲和, 白水御代, 湯地大輔, 山部剛史, 池谷佑樹, 片山郁雄, 田中正史: 第163回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 東京, 2013, 11.
28. 湯地大輔, 野口権一郎, 白水御代, 大城憲和, 西智史, 山部剛史, 池谷佑樹, 片山郁雄, 田中正史: 第163回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 東京, 2013, 11.
29. 河内順, 荻野秀光, 下山ライ, 渡部和巨, 磯貝尚子, 池谷佑樹, 河野至明: 腹腔内経路S状結腸人工門術後、挙上結腸-腹壁間の内ヘルニアが生じた二例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
30. 池谷佑樹, 荻野秀光, 磯貝尚子, 河内順, 下山ライ, 渡部和巨: 切除不能局所進行食道癌に対して化学放射線療法中の大動脈食道瘻に対して胸部大動脈ステントグラフト内挿術および食道カバードステント留置し急性期救命され経口摂取が可能になった一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
31. 池谷佑樹, 荻野秀光, 渡部和巨: 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後中期の大動脈十二指腸瘻に対して十二指腸空腸バイパスおよび大網被覆術を施行し救命し得た一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
32. 川治崇泰, 下山ライ, 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典, 荻野秀光, 渡部和巨: ベバシズマブ併用化学療法により後腹膜血腫を認めた進行直腸癌の一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
33. 久米菜央, 下山ライ, 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典, 荻野秀光, 渡部和巨: 怠薬により2回の大腸穿孔を来したクローン病の一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
34. 倉田修治, 田中久美子, 渡部和巨, 下山ライ, 加藤一郎: 巨大腫瘤を呈し術前化学療法を施行した男性乳癌の一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
35. 田代善彦, 荻野秀光, 渡部和巨, 河内順, 下山ライ, 池谷佑樹: S錠結腸壁内血腫が腸管外に穿孔し汎発性腹膜炎を来した1例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
36. 池谷佑樹, 磯貝尚子, 河内順, 下山ライ, 荻野秀光, 渡部和巨: 原発性小腸軸捻転により発症した急性乳び腹膜炎の一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
37. 加藤一郎, 河内順, 渡部和巨, 荻野秀光, 下山ライ, 池谷佑樹, 三宅克典, 西田智喜: メッケル憩室穿孔により腹膜炎に至った一例. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
38. 田中久美子, 下山ライ, 池谷佑樹, 河内順, 荻野秀光, 渡部和巨, 太田恵一朗: 癌治療におけるチーム医療の現状と問題点 総合病院における乳がんチーム医療構築の経験. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
39. 下山ライ, 荻野秀光, 河内順, 池谷佑樹, 磯貝尚子, 三宅克典, 渡部和巨: 大腸穿孔に対する治療戦略 当院における大腸穿孔手術例の成績・予後因子の解析と治療戦略. 第75回日本臨床外科学会総会, 名古屋, 2013, 11.
40. 徳本直彦, 三浦一郎, 辻本和之, 三宅克典, 村田憲彦, 秦野直: 当院におけるロボット支援下前立腺全摘術(RALP)の初期治療経験. 第26回日本内視鏡外科学会総会, 福岡, 2013, 11.

(3) 講演会

41. 下山ライ：大腸癌の治療． Bristol・マイヤーズスクイブ株式会社社内研修会，横浜，2013，1.
42. 下山ライ：大腸癌の治療． 武田薬品工業株式会社社内研修会，藤沢，2013.
43. 下山ライ：徳洲会オンコロジープロジェクトの概要． 第一三共株式会社社内講演会． 2013，10.